

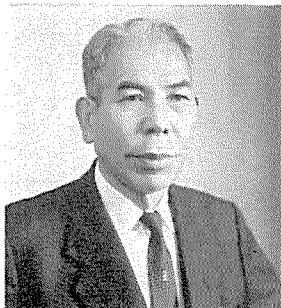
著作目録(松木保夫)

著者	東北大学史料館
号	32
発行年	1968-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/63443

松木保夫教授著作目録

昭和 43 年 3 月

東北大学記念資料室



松木保夫教授略歴

明治37年12月17日生

大正15年 4月	東北帝国大学工学部化学工学科入学
昭和 4年 3月	同大学卒業
同 4年 4月	任東北帝国大学助手
同 4年 5月	免東北帝国大学助手
同 4年 5月	台湾製糖株式会社入社
同 12年 3月	充員召集
同 13年 4月	
同 13年 9月	臨時召集
同 15年 8月	
同 19年 3月	台湾製糖株式会社退職
同 19年 3月	命東北帝国大学非水溶液化学研究所研究嘱託
同 19年 6月	任東北帝国大学非水溶液化学研究所教授
同 23年 3月	工学部兼務
同 25年 8月	
同 28年 4月	非水溶液化学研究所有機合成化学部門担当 あわせて工学研究科の授業担当
同 30年 3月	理学博士(京都大学)
同 36年10月	東北大学評議員
同 37年 3月	東北大学非水溶液化学研究所長 東北大学評議員
同 40年 2月	
同 40年 3月	東北大学非水溶液化学研究所長 東北大学評議員
同 43年 2月	
同 43年 3月	停年退官

著 作 目 録

発表年月	論 文 題 目	掲載誌名(巻・号)	頁数	発行者
1930. 8	Studien Über Twitchell'sche Fettspalter [II]	Chemische Umschau 37, 217~223(1930)	7	
1931. 3	Studien Über Twitchell'sche Fettspalter [III]	Chemische Umschau 38, 73~78(1931)	6	
1949. 3	潤滑油の酸化における可視部吸収スペクトルについて	日本化学雑誌 70(3), 57~60 (1949)	4	日本化学会
1949. 3	液体アンモニヤに対する潤滑油の溶解度測定	冷凍協会誌 24, 13~15(1949)	3	冷凍協会
1949. 4	液体アンモニヤによる低温タール処理に関する研究 [I]	工業化学雑誌 52(4), 92~94(1949)	4	工業化学会
1949. 4	加圧下における潤滑油の酸化	同 上 52(4), 91~92(1949)	2	同 上
1949. 7	液体アンモニヤによる低温タール処理に関する研究(第2報),連続抽出について並びに抽出効率ノモグラム	同 上 52(7), 189~191(1949)	3	同 上
1949. 10	潤滑油の酸化時における樹脂質物生成におよぼす諸影響について	燃料協会誌 28(10), 202~204(1949)	3	燃料協会
1950. 1	液体アンモニヤによる低温タール処理に関する研究(第3報),精製油成分の変化について	工業化学雑誌 53(1), 28~30(1950)	3	工業化学会
1950. 8	液体アンモニヤによる低温タール処理に関する研究(第4報),酸性油の影響について	同 上 53(8), 245~247(1950)	3	同 上
1950. 8	鉱油類の過酸化物定量について	同 上 53(8), 257~259(1950)	3	同 上
1950. 12	液体アンモニヤによる低温タール処理に関する研究(第5報),濃厚アンモニヤ水による抽出について	工業化学雑誌 53(12), 425~427(1950)	3	工業化学会
1951. 1	潤滑油の酸化に関する研究(第4~5報) 第4報常圧酸化による過酸化について 第5報過酸化に及ぼす添加剤の影響	同 上 54(1), 127~131(1951)	5	同 上
1951. 3	潤滑油の酸化に関する研究(第6報) 密閉式酸素循環酸化による過酸化について	同 上 54(3), 217~219(1951)	3	同 上
1951. 6	潤滑油の酸化に関する研究(第7報) 加圧過酸化について	同 上 54(6), 391~394(1951)	4	同 上
1951. 12	液体アンモニヤによるココア豆搾粕および茶よりアルカロイド類の抽出について	非水溶液化学研究所報告 第1巻第2号 105~111(1951)	7	非水溶液化学研究所
1952. 1	液体アンモニヤによる低温タール処理に関する研究(第6報) 含水液安による抽出に及ぼす酸性油含有量の影響	工業化学雑誌 55(1), 12~14(1952)	3	工業化学会

1952.	3	低温タールの液体アンモニヤ処理に関する研究	非水溶液化学研究所報告 第2巻第1号 51~59(1952)	9	非水溶液化学研究所
1952.	9	燈燈油溜分の液体アンモニヤによる精製について	工業化学雑誌 55(9), 619~620(1952)	2	工業化学会
1953.	1	潤滑油の酸化に関する研究(第8,第9報) 第8報 合成潤滑油の反復酸化について(A) 第9報 同 上 (B)	同 上 56(1), 31~34(1953)	4	同 上
1953.	8	潤滑油の酸化に関する研究(第10報) 直溜鉱油の触媒存在下における反復酸化について	同 上 56(8), 620~623(1953)	4	同 上
1954.	4	潤滑油の酸化に関する研究(第11報) 炭化水素類の常圧液相酸化時における過酸化物最適蓄積期について	同 上 57(4), 286~290(1954)	5	同 上
1954.	8	潤滑油の酸化に関する研究(第12報) 炭化水素の加圧酸化時における過酸化物最適蓄積期について	同 上 57(8), 564~568(1954)	5	同 上
1955.	2	The Autoxydation of Hydrocarbon in Liquid Phase	The Science Report of the Research Inst. Tohoku Univ. (seriesA) Vol.7 (No.1) 99~133 (1955)	35	東北大学
1956.	3	エチルおよびイソプロピルベンゼンの液相オゾン酸化	非水溶液化学研究所報告 第10巻第1,2号 153~160	8	非水溶液化学研究所
1959.	2	A Note on the Proton Magnetic Resonance of Some Thiophene Derivatives	Bull. Chem. Soc., Japan 32(2), 156~161(1959)	6	日本化学会
1959.	11	2-メトキシメチルおよび2,5-メトキシメチルチオフェンの合成と反応	工業化学雑誌 62(1), 1559~1563(1959)	5	工業化学会
1960.	1	チオフェンのチオシヤノメチル化, および2-チオチオシヤネートの熱転位	同 上 63(2), 2171~2173 (1960)	3	同 上
1960.	5	2-クロロメチルチオフェンと液安との反応	同 上 63(5), 834~836(1960)	3	同 上
1960.	10	Thermal Isomerization of 2-Phenylthiocyanate	Bull. Chem. Soc., Japan 33(10), 1465(1960)	1	日本化学会
1961.	3	2,2'-ジチエニルのアセチルおよびホルミル化合物の合成とそれらの反応	旭硝子工業技術奨励会研究報告 第7巻 235~241	7	旭硝子工業技術奨励会
1961.	11	Proton Magnetic Resonance Spectra of Methyl Sulphonyl Chloride	Bull. Chem. Soc., Japan 34 (1), 1599(1961)	1	日本化学会
1962.	4	ニトロチオフェンアルデヒド類の合成	日本化学雑誌 83(4), 496~499(1962)	4	同 上
1962.	8	On the Nitration of 2-Phenyl Acetate	Bull. Chem. Soc., Japan 35 (8), 1420(1962)	1	同 上

1963.	1	Proton Magnetic Resonance Spectra of Some Thenyl Derivatives	Bull. Chem. Soc., Japan 36(1), 108~112(1963)	4	同	上
1963.	3	2,2'-ジチイエニルのカルボニル誘導体の合成とそれらの反応について	非水溶液化学研究所報告 第12巻, 第1,2号 1~8(1963)	8	非水溶液化学研究所	
1963.	3	2-ベンジルチオフェン誘導体の合成	旭硝子工業技術奨励会研究報告 第9巻 221~229(1963)	9	旭硝子工業技術奨励会	
1963.	5	Abnormal Oxydation of 3-Nitro-2-Thenyl Bromide by Cupric Nitrate	Bull. Chem. Soc., Japan 36(5), 618~620(1963)	3	日本化学会	
1964.	5	Long-range Proton Spinspin Interaction in Thianaphthens	Bull. Chem. Soc., Japan 37(5), 768~769(1964)	2	同	上
1964.	8	The Formation of Three Isomeric Mononitro Derivatives in the Nitration of 2-Thenyl Chloride	Bull. Chem., Soc., Japan 37(8), 1235~1236(1964)	2	同	上
1965.	1	メチルチアナフテン類のアセチル化とアセチル化物の Willgerodt 反応	日本化学雑誌 86(1), 99~102(1965)	4	同	上
1965.	1	7-メチルチアナフテン誘導体の合成	同 上 86(1), 102~106(1965)	5	同	上
1965.	3	Proton Magnetic Resonance of Thianaphthenes. II. The Long-range Coupling between 2- and 6-Hydrogens	Bull. Chem. Soc., Japan 38(3), 508~509(1965)	2	同	上
1965.	6	チアナフテン-6-置換体の合成	日本化学雑誌 86(6), 637~641(1965)	5	同	上
1965.	6	2,3のジメチルチアナフテン類のアセチル化とアセチル化物の Willgerodt 反応	同 上 86(6), 643~644(1965)	2	同	上
1965.	6	5-ブロムチアナフテン誘導体の合成	同 上 86(6), 1067~1072(1965)	6	同	上
1965.	6	PMR Studies of Bromothiophenes	Bull. Chem. Soc., Japan 38(6), 1041~1043(1965)	3	同	上
1965.	8	7-メチルチアナフテン-3-誘導体の合成	日本化学雑誌 86(8), 853~856(1965)	4	日本化学会	
1965.	10	The Proton Magnetic Resonance of Thianaphthenes. III. The Long-range Coupling Observed in Side-chain Methyl Hydrogen in some Methylthianaphthenes	Bull. Chem. Soc., Japan 38(10), 1799~1800 (1965)	2	同	上
1966.	2	チアナフテンアルデヒド類の臭素化について	日本化学雑誌 87(2), 186~189(1966)	4	同	上
1966.	10	The Proton Magnetic Resonance IV. The Estimation of the Chemical Shifts of Thanaphthene by Partial Deuteration	Bull. Chem. Soc., Japan 39(10), 2316(1966)	1	同	上

1967.	3	Proton Magnetic Resonance. Spectra of Methyliodothiophene	Bull. Chem. Soc., Japan 40(3), 605~607(1967)	3	同	上
1967.	4	臭化チアナフテニルマグネシウムと二酸化炭素との反応	日本化学雑誌 88(4), 445~447(1967)	3	同	上
1967.	7	2-ブロム-3メチル-および3-ブロム-2-メチルチアナフテンのアセチル化とアセチル化物の Schmidt 反応	同 88(7), 751~754(1967)	4	同	上
1967.	7	閉環反応によるブロムメチルチアナフテン類の合成	同 88(7), 755~758(1967)	4	同	上
1967.	7	ブロムチアナフテンアルデヒド類の合成	同 88(7), 758~763(1967)	6	同	上
1967.	11	アセチルチアナフテン類の Baeyer-Villiger 反応	同 88(1), 1193~1196(1967)	4	同	上
1968.	2	2-メトキシ-および3-メトキシチアナフエン誘導体の合成	同 89(2), 192~196(1968)	5	同	上
1968.	6	Nitration of 2-Thenyl Derivatives (II) Preparation of Three Isomeric Mononitro Derivatives of 2-Thenyl Chloride and 2-Thenyl Acetate	Bull. Chem. Soc., Japan 41 (6) ~ (1968) (掲載確定)		同	上

